

2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年5月14日
東

上場会社名 株式会社ソラコム 上場取引所
コード番号 147A URL <https://soracom.com>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 玉川 憲
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 五十嵐 知子 (TEL) 050-1720-8147
定時株主総会開催予定日 2025年6月25日 配当支払開始予定日 —
有価証券報告書提出予定日 2025年6月24日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期の連結業績(2024年4月1日~2025年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		リカーリング 収益		EBITDA (注) 1		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	8,993	13.4	6,562	21.9	833	△0.2	656	△9.7	619	△2.9	352	△27.4
2024年3月期	7,928	25.9	5,382	24.4	835	390.8	727	617.5	638	466.0	485	585.1

(注) 包括利益 2025年3月期 313百万円(△48.9%) 2024年3月期 612百万円(662.9%)

	1株当たり当期 純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本当期純 利益率	総資産経常利 益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	7.84	7.48	3.9	5.1	7.3
2024年3月期	12.59	12.57	8.0	7.7	9.2

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 ー百万円 2024年3月期 ー百万円

(注) 1. EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額+株式報酬費用

2. 2024年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、当社株式が2024年3月26日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、新規上場日から2024年3月期の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	13,403	10,355	75.0	222.78
2024年3月期	10,917	8,404	75.5	190.76

(参考) 自己資本 2025年3月期 10,059百万円 2024年3月期 8,244百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	△728	△474	2,451	8,917
2024年3月期	456	△170	3,791	7,697

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、通期は対前期増減率）

(※表示は、通期は対前期増減率)							
	売上高		リカーリング 収益		EBITDA		
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通 期	10,800 ～11,800	20.1 ～31.2	8,690 ～9,410	32.4 ～43.4	1,060 ～1,210	27.1 ～45.1	
	営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する当期純利益		1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	600 ～750	△8.6 ～14.2	560 ～720	△9.6 ～16.2	420 ～570	19.1 ～61.6	9.30 ～12.62

※ 注記事項

- （１）期中における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社（社名）株式会社キャリオット、除外 一社（社名）ー

- （２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- （３）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2025年3月期	45,153,515株	2024年3月期	43,220,809株
2025年3月期	30株	2024年3月期	一株
2025年3月期	44,992,791株	2024年3月期	38,564,612株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たって注意事項等については、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況（４）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

当社は、2025年5月14日に機関投資家、アナリスト向けの会社説明会を開催する予定です。この説明会で使用する資料については、TDnetで開示するとともに、当社ウェブページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報)	12
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業の高収益と賃上げで緩やかに回復するも、物価高と海外での保護主義の台頭による不透明さが増えています。米国経済は堅調な労働市場に支えられていますが、政策とインフレ動向に注視が必要な状況にあります。欧州経済は持ち直し傾向にあるものの、高金利と地政学リスクが不確定要因となっている状況が継続しています。

このような状況の下、ITサービス分野において、IoT技術は、日本の喫緊の課題である少子高齢化や人口減少に伴う労働力不足、生産性向上といった社会課題の解決に貢献することが一層期待されています。また、企業における業務効率化ニーズの高まりを背景にICT（情報通信技術）の活用が加速する中、今後もIoTは社会インフラや産業高度化においてますます重要な役割を担っていくと予測され、当社が果たすべき役割はますます高まるものと認識しております。加えて、2024年以降、生成AIの社会実装と活用が急速に進んでおり、政府によるAI戦略の推進や、データ活用基盤の整備といった動きも活発化しています。当社グループにおいても、AIoT（AI of Things）として、顧客への新たな価値提供を目指し、生成AIを活用したサービスの高度化や新規事業の探索、技術研究開発を積極的に推進しております。

当連結会計年度の業績については、課金アカウント数^{(注1) (注3)}やARPA^{(注2) (注3)}が伸びたことにより、リカーリング収益(プラットフォーム利用料)による継続収入が6,562,193千円（前期比21.9%増）と好調に推移しました。課金アカウント数は継続的に伸びて8千8百となり、ARPAは前期比10.4%増加の760千円となりました。一方で、商品販売とその他の売上からなるインクリメンタル収益については、一部期ずれ案件もあり2,430,837千円（前期比4.5%減）となりました。

当社グループは日本発のグローバル企業として海外展開の取り組みを行って参りました。その結果、海外売上高の比率は、前期比5.4ポイント増加の41.8%となりました。

また、販売費及び一般管理費については、人材投資、イベント出展による広告宣伝など積極的な投資を行った結果、4,376,526千円（前期比16.2%増）、販管費率は47.5%から48.7%となりました。さらに営業外費用として、円安の影響による為替差損26,323千円、特別損失として、投資有価証券評価損198,302千円を計上しております。

この結果、当連結会計年度における売上高は8,993,031千円（前期比13.4%増）、営業利益は656,539千円（前期比9.7%減）、経常利益は619,617千円（前期比2.9%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は352,716千円（前期比27.4%減）となっております。

なお、当社はIoTプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント情報は記載しておりません。

(注1) 課金アカウント数は、1ヶ月の間にリカーリング収益が発生した口座数をいいます。同一の顧客企業等が部署や業務別に複数の口座を有する場合があります。

(注2) Average Revenue Per Accountの略称。1アカウントあたりの平均売上金額を示す指標を意味します。

(注3) 株式会社キャリアOTTを除いております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産合計は12,308,184千円となり、前連結会計年度末に比べ2,214,033千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が2024年4月におけるオーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資による新株式の発行及び2024年12月における金融機関からの借入の実行等により1,220,528千円増加したこと、デバイスや受託開発案件の納品があったことによる売掛金の増加689,983千円によります。固定資産合計は、1,077,945千円となり、前連結会計年度末に比べ275,291千円増加いたしました。これは主にソフトウェアなどの無形固定資産の増加271,281千円によるものであります。

この結果、当連結会計年度末における資産合計は13,403,349千円となり、前連結会計年度末に比べ2,485,973千円増加いたしました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債合計は2,319,939千円となり、前連結会計年度末に比べ141,808千円減少いたしました。これは主にデバイス仕入により買掛金が235,017千円増加、1年以内返済予定の長期借入金が249,996千円増加した一方で、デバイス交換等により製品保証引当金が293,946千円減少、リカーリング収益の前受額を売上認識したことにより契約負債が135,641千円減少したことによるものであります。固定負債合計は728,389千円となり、前連結

会計年度末に比べ677,203千円増加いたしました。これは主に長期借入金が増加したことによるものであります。

この結果、当連結会計年度末における負債合計は、3,048,329千円となり、前連結会計年度末に比べ535,394千円増加いたしました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は10,355,020千円となり、前連結会計年度末に比べ1,950,578千円増加いたしました。これは2024年4月におけるオーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資による新株式の発行やストックオプションの行使による資本金及び資本剰余金の増加それぞれ741,897千円、744,897千円、親会社株主に帰属する当期純利益352,716千円の計上による利益剰余金の増加によるものであります。

この結果、自己資本比率は75.0%(前連結会計年度末は75.5%)となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。))については、前連結会計年度末より1,220,528千円増加し、8,917,773千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、支出した資金は728,673千円(前連結会計年度は456,241千円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益を421,314千円計上したものの、デバイスや受託開発案件の納品があったことに伴う売上債権の増加683,729千円及びリカーリング収益の前受額を売上認識したことによる契約負債の減少257,639千円があったことによるものです。その他、デバイス仕入に伴う仕入債務の増加額223,704千円及びデバイス交換等による製品保証引当金の減少額293,946千円、投資有価証券評価損198,302千円を計上しております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は474,993千円(前連結会計年度は170,572千円の支出)となりました。これは主にソフトウェアの開発に伴う無形固定資産の取得による支出306,611千円及び投資有価証券の取得による支出161,600千円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、増加した資金は2,451,930千円(前連結会計年度は3,791,479千円の収入)となりました。これは主にオーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資による新株式の発行による収入1,287,956千円及び新株予約権の行使による株式の発行による収入178,780千円、長期借入れによる収入1,000,000千円及び長期借入金の返済による支出62,499千円によるものです。

(4) 今後の見通し

ITサービス分野において、IoT技術は、日本の少子高齢化や人口減少に伴う社会課題の解決に貢献することが期待されており、当社が果たすべき役割はますます高まるものと認識しております。今後も、海外を含め、リカーリング収益を中心とした成長を見込んでおります。

この結果、2026年3月期の連結業績は、売上高10,800～11,800千円(前期比20.1～31.2%増)、リカーリング収益8,690～9,410千円(前期比32.4～43.4%)、EBITDA 1,060～1,210千円(前期比27.1～45.1%増)、営業利益600～750千円(前期比8.6%減～14.2%増)、経常利益560～720千円(前期比9.6%減～16.2%増)、親会社株主に帰属する当期純利益420～570千円(前期比19.1～61.6%増)を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、国際会計基準の適用につきましては、海外展開や国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,697,244	8,917,773
売掛金	1,738,045	2,428,028
商品	388,012	386,580
その他	272,684	579,822
貸倒引当金	△1,835	△4,021
流動資産合計	10,094,150	12,308,184
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	39,200	40,018
その他（純額）	57,404	45,651
有形固定資産合計	96,604	85,670
無形固定資産		
ソフトウェア	155,953	321,256
ソフトウェア仮勘定	59,621	92,517
のれん	-	47,516
その他	67,423	92,989
無形固定資産合計	282,997	554,279
投資その他の資産		
投資有価証券	198,302	161,600
繰延税金資産	94,176	105,755
その他	130,573	170,640
投資その他の資産合計	423,052	437,996
固定資産合計	802,654	1,077,945
繰延資産		
株式交付費	20,570	17,219
繰延資産合計	20,570	17,219
資産合計	10,917,376	13,403,349

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	579,099	814,117
リース債務	12,547	12,666
契約負債	972,145	836,503
製品保証引当金	320,149	26,203
賞与引当金	69,950	67,258
株主優待引当金	-	1,601
1年内返済予定の長期借入金	-	249,996
その他	507,857	311,593
流動負債合計	2,461,748	2,319,939
固定負債		
長期借入金	-	687,505
リース債務	12,626	-
資産除去債務	13,794	13,960
その他	24,765	26,923
固定負債合計	51,185	728,389
負債合計	2,512,934	3,048,329
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,004,762	2,746,660
資本剰余金	5,532,316	6,277,214
利益剰余金	502,341	855,057
自己株式	-	△42
株主資本合計	8,039,420	9,878,888
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	205,500	180,208
その他の包括利益累計額合計	205,500	180,208
新株予約権	159,519	257,171
非支配株主持分	-	38,751
純資産合計	8,404,441	10,355,020
負債純資産合計	10,917,376	13,403,349

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	7,928,778	8,993,031
売上原価	3,436,079	3,959,965
売上総利益	4,492,699	5,033,066
販売費及び一般管理費	3,765,362	4,376,526
営業利益	727,336	656,539
営業外収益		
受取利息	43	4,294
その他	3	37
営業外収益合計	47	4,331
営業外費用		
支払利息	6,356	5,302
為替差損	58,645	26,323
上場関連費用	23,949	1,043
株式交付費	-	8,535
その他	23	48
営業外費用合計	88,974	41,253
経常利益	638,408	619,617
特別損失		
投資有価証券評価損	-	198,302
特別損失合計	-	198,302
税金等調整前当期純利益	638,408	421,314
法人税、住民税及び事業税	244,489	92,475
法人税等調整額	△91,647	△9,481
法人税等合計	152,842	82,994
当期純利益	485,565	338,319
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	-	△14,396
親会社株主に帰属する当期純利益	485,565	352,716

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純利益	485,565	338,319
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	126,460	△25,291
その他の包括利益合計	126,460	△25,291
包括利益	612,026	313,028
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	612,026	327,424
非支配株主に係る包括利益	-	△14,396

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	3,627,554	16,775	-	3,744,329
当期変動額					
新株の発行	1,904,762	1,904,762			3,809,525
親会社株主に帰属する 当期純利益			485,565		485,565
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	1,904,762	1,904,762	485,565	-	4,295,091
当期末残高	2,004,762	5,532,316	502,341	-	8,039,420

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計			
当期首残高	79,039	79,039	138,719	-	3,962,089
当期変動額					
新株の発行					3,809,525
親会社株主に帰属する 当期純利益					485,565
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	126,460	126,460	20,800	-	147,260
当期変動額合計	126,460	126,460	20,800	-	4,442,351
当期末残高	205,500	205,500	159,519	-	8,404,441

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,004,762	5,532,316	502,341	-	8,039,420
当期変動額					
新株の発行	741,897	744,897			1,486,794
親会社株主に帰属する 当期純利益			352,716		352,716
自己株式の取得				△42	△42
連結範囲の変動					-
連結子会社の増資による持 分の増減					-
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	741,897	744,897	352,716	△42	1,839,467
当期末残高	2,746,660	6,277,214	855,057	△42	9,878,888

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計			
当期首残高	205,500	205,500	159,519	-	8,404,441
当期変動額					
新株の発行					1,486,794
親会社株主に帰属する 当期純利益					352,716
自己株式の取得					△42
連結範囲の変動				9,635	9,635
連結子会社の増資による持 分の増減				43,512	43,512
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△25,291	△25,291	97,651	△14,396	57,963
当期変動額合計	△25,291	△25,291	97,651	38,751	1,950,578
当期末残高	180,208	180,208	257,171	38,751	10,355,020

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	638,408	421,314
減価償却費	87,429	117,619
のれん償却額	-	3,655
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△542	2,037
受取利息	△43	△4,294
支払利息	6,356	5,302
為替差損益 (△は益)	12,300	11,604
売上債権の増減額 (△は増加)	△814,662	△683,729
棚卸資産の増減額 (△は増加)	12,325	9,614
仕入債務の増減額 (△は減少)	370,193	223,704
株式報酬費用	20,800	56,111
上場関連費用	23,949	1,043
賞与引当金の増減額 (△は減少)	27,831	△2,692
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	320,149	△293,946
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	-	1,601
投資有価証券評価損益 (△は益)	-	198,302
契約負債の増減額 (△は減少)	△229,850	△257,639
前渡金の増減額 (△は増加)	36,463	△49,619
その他	163,882	△396,577
小計	674,992	△636,586
利息の受取額	43	4,294
利息の支払額	△1,200	△1,872
法人税等の支払額	△217,592	△94,509
営業活動によるキャッシュ・フロー	456,241	△728,673
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△17,657	△17,407
投資有価証券の取得による支出	-	△161,600
無形固定資産の取得による支出	△154,725	△306,611
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	59,631
その他	1,810	△49,006
投資活動によるキャッシュ・フロー	△170,572	△474,993
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	-	1,000,000
長期借入金の返済による支出	-	△62,499
株式の発行による収入	3,803,692	1,287,956
自己株式の取得による支出	-	△42
非支配株主からの払込みによる収入	-	43,512
リース債務の返済による支出	△11,732	△12,940
新株予約権の発行による収入	-	41,676
新株予約権の行使による株式の発行による収入	-	178,780
上場関連費用の支出	△479	△24,513
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,791,479	2,451,930
現金及び現金同等物に係る換算差額	87,591	△27,734
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,164,741	1,220,528
現金及び現金同等物の期首残高	3,532,503	7,697,244
現金及び現金同等物の期末残高	7,697,244	8,917,773

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループは、IoTプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額	190.76円	222.78円
1株当たり当期純利益	12.59円	7.84円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	12.57円	7.48円

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額は、当社株式が2024年3月26日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、新規上場日から前連結会計年度までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	485,565	352,716
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	485,565	352,716
普通株式の期中平均株式数(株)	38,564,612	44,992,791
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	67,719	2,183,784
(うち新株予約権(株))	67,719	2,183,784
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—	—

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	8,404,441	10,355,020
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	159,519	295,923
(うち新株予約権(千円))	(159,519)	(257,171)
(うち非支配株主持分(千円))	(－)	(38,751)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	8,244,921	10,059,097
普通株式の発行済株式数(株)	43,220,809	45,153,515
普通株式の自己株式数(株)	－	30
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	43,220,809	45,153,485

(重要な後発事象)

当社は、2025年5月12日開催の取締役会において、2025年8月1日（予定）を効力発生日として丸紅I-DIGIOホールディングス株式会社（以下、「丸紅I-DIGIO」といいます。）が新設する会社の株式を一部取得し子会社（合併会社）化することを決議いたしました。なお、当該会社は、同日をもって、丸紅ネットワークソリューションズ株式会社（以下、「丸紅ネットワーク」といいます。）のMVNO事業を承継する予定です。

企業結合の概要

①被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 未定

事業の内容 MVNO事業（法人・IoT向け無線通信サービスの提供）

②企業結合を行った主な理由

当社は、IoT通信プラットフォーム「SORACOM」の提供を通じて、IoTを活用した企業のDX推進を支援しており、通信・クラウド・デバイスを統合したサービスを国内外で展開しています。クラウド上に構築された自社開発の通信制御・管理基盤を強みに、グローバルで700万回線超の導入実績を有し、企業のニーズに応じた柔軟なIoT接続サービスを提供しています。一方、丸紅ネットワークは、法人向けにモバイルワーカー向け通信、IoT回線、プリペイド通信などを展開しており、安定した通信基盤と運用体制を有しております。

このたび、丸紅ネットワークのMVNO事業を吸収分割により承継する目的で、丸紅ネットワークの完全親会社である丸紅I-DIGIOが新会社を設立し、当社がその51%の株式を取得することで、新会社を当社の連結子会社（合併会社）とすることを決定いたしました。

新会社は、当社のIoT通信プラットフォーム運営に関する技術力と、丸紅ネットワークが有する法人通信サービスの運用ノウハウ、さらに丸紅グループが保有する広範な法人顧客ネットワークを融合させることで、法人およびIoT向けの総合的かつ高付加価値な無線通信サービスを提供する体制を構築します。

③企業結合日

2025年8月1日（予定）

④企業結合の法的形式

株式取得

⑤結合後企業の名称

未定

⑥取得する議決権比率

51%

⑦取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得することによるものです。